

り現場と労働運動の課題

ここ数年の間にアジアのものづくり現場は、大きく変化している。今号では、「変化するアジアのものづくり現場と労働運動の課題」をテーマに特集する。最近のアジアのものづくり現場の変化について考察すると共に、日本を含めてアジア全体で増えつつある「不安定労働」への対応など、直面するアジアの労働組合の取り組み課題と展望について本年6月にマレーシアで開催した第1回アジア金属労組連絡会議の討議内容を中心に紹介する。

第1部では、「変化するアジアの労働運動の課題」と題して、第1回アジア金属労組連絡会議での、「アジアにおける不安定労働の実態と労組の対応」についてのシンガポール、韓国、タイ、マレーシア、インドネシアなど各国金属労組の取り組み内容と、「不安定労働に対抗するIMF世界行動デー」に対する各国の労組の

対応を掲載する。このほか、「アジアの労働運動の展望と課題」について、小島正剛IMF-JC顧問とラジャセカラン・マレーシア労働組合会議事務局長の基調講演を掲載し、アジアの金属労組は何を考え、いかに行動しているのかを紹介する。

第2部では、「変化するアジアのものづくり現場」について、「日本のものづくり推進力」(川口盛之助氏)の強みについて再認識すると共に「アジアのものづくり現場の変化」について香川孝三氏の論文を掲載する。また、「中国のものづくり現場の変化」について、労働組合役員を代表して山口擴氏から、経営者を代表して久保田昭夫氏からの所感を紹介する。

(文責・編集) 金属労協組織総務局



変化するアジアのものづく



Illustration : しおたまこ